

号外

すだち

発行：
高次脳機能障がい
徳島家族会
住所：770-8006
徳島市新浜町 3 丁目
1-16
電話：088-662-4776

「御所たらいうどんで交流会」

4月25日、高次脳機能障がい徳島家族会（すだち）は、御所で「たらいうどん」を食べながら交流会を開きました。

集会には、香川の家族会の代表も参加し、徳島からは当事者、家族等の参加で全体では33名が参加しました。会場は「かねぎんさかの」で11時に開会し、はじめに岩垣会長から、これまでの会の活動が大まかに報告され、たらいうどんでの交流は昨年引き



つづき二回目の集会になること、日ごろの、悩みや、思っていることを率直に話し合っ
て交流を深めること、また今回は最後に抽選会も行われますので、楽しみに交流を深めて
いただきたい」とした挨拶がありました。

その後、全参加者から自己紹介がありました。自己紹介では、家族から介護の難しさ、
また行政の対応についても発言がありました。当事者からは、就労への意欲と、希望する
仕事に向かってリハビリに頑張っている発言がありました。



参加者は、たらいに入った名物「たらいうどん」等を食べながら、日ごろのリハビリの実
態、介護の状況等を話し合いました。最後に
三木副会長が交流を通じて会員の親睦を図
り「障がいの実態を理解してもらう活動をし
ていきましょう。」とした閉会の挨拶と、お
楽しみ抽選があり、参加者全員が景品を手
に、たらいうどん交流会を終了しました。

「回復」をあきらめないで

第一回脳損傷ケアリング・コミュニティ学会(4月10日開催:島根)

「えん〜縁・援・円・延・宴・〜むすび」をキーワードに第一回脳損傷ケアリング・コミュ
ティ学会が開催されました。研究発表では、秋田県立脳血管研究センター長田氏から、「脳損
傷の回復は発症期のみならず慢性期に入っても回復する可能性が残されており、回復をあき
らめないで脳に刺激を与えるような生活が大切だ」と話されていました。

**参加しての
感想**

4月25日家族会交流「たらいうどん」に参加して、家族として不安に思っていることを聞き同じだと思いました。介護している家族に急な出来事が起った場合の対応として、行政、医療・介護施設等への折衝を短い時間で対応することを家族会で考えてはどうなのか。介護者が急に倒れ病院へ行かなくてはならない、急な外出用件が出来た、こうした時介護施設への一時入所、介護士依頼までの短時間の介護を、会として対応できないかと言う悩みでした。

ご案内**脳外傷友の会 第10回全国大会 IN なら**

奈良県文化会館（奈良県奈良市）

「安心」を合言葉に、第10回脳外傷友の会全国大会が、下記の内容で開催されます。参加して、同じ障がいや悩む仲間と話し合い、交流を深めてはどうでしょうか。なお参加については、「すだち」としては財政上、組織としての参加は困難ですので、個々での申し込み、参加となります。どうかご了承ください。

《交流会》 2010年6月25日（金） 18時～20時（ホテル日航奈良）

《大会》 2010年6月26日（土） （奈良県文化会館国際ホール）

10時・・・開会 日本脳外傷友の会活動報告

11時10分・・・「日本脳外傷友の会10周年記念事業」

13時30分・・・シンポジウム「～安心～」

当事者も家族も地域の人々も、現在も未来も

16時30分・・・閉会 終了

会場では、「交流とワークショップ」「加盟団体活動発表展示」「物品販売」
27日は奈良観光もオプション企画されています。

お知らせ**すだち主催「高次脳機能障がい医療講演会」**

家族会「すだち」では、来る11月14日（日）、損害保険協会、徳島大学の支援を受けて「高次脳機能障がい医療講演会」を開催することにしています。場所は徳島大学医学部、第二臨床講義室の予定。内容は、次のとおりです

◇中島恵子氏（帝京平成大学健康メデイカル学部臨床心理学教授）

講演 折衝中

◇蜂須賀研二氏（産業医科大学リハビリテーション医学）

講演 折衝中